

天ヶ瀬ダムではこれまでも宇治市のイベントなどでライトアップを実施していましたが、照明器具のLED化にあたり、多彩な演出が可能なフルカラーLED照明器具を導入。これまで以上に各種イベントに合わせた様々な点灯パターンでの照明演出が可能になりました。

天ヶ瀬ダムは、琵琶湖から流れる宇治川で唯一のダムであり、水系内で最も古い1964年に完成しました。総貯水量は2,628万㎡で「洪水調節」「飲み水の供給」「発電」という3つの機能をもつ多目的ダムです。ドーム型アーチ式の姿が羽を広げた鳥に見えることからダム湖は「鳳凰湖」と呼ばれています。また全国的にも珍しく、市街地近くに位置し、国交省が推進している「インフラツーリズム」のモデル施設の一つになっています。



【物件概要】
所在地：京都府宇治市宇治金井戸
型式：ドーム型アーチ式コンクリートダム
堤高：73m
堤長：254m
堤体積：164,000㎡
総貯水量：26,280,000㎡
施主：国土交通省近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
竣工：2025年3月



管理棟屋上から見た七夕をイメージしたライトアップ演出 3台1組のフルカラーLED照明器具ColorBlast IntelliHue Powercore gen5①が3つのゲートを照射



キャットウォークからみた七夕をイメージしたライトアップ演出



キャットウォークからみた七夕をイメージしたライトアップ演出 青色～紫色へ流れる演出、ピンク色で点滅する演出、広がる演出を3分間1サイクルで照射



キャットウォークからみた万博カラーをイメージしたライトアップ演出

管理照明の機能を確保しつつ、ダムを鮮やかに演出するライトアップで「インフラツーリズム」を推進。

天ヶ瀬ダムでは放流時の堤体の管理照明として平成6年から1000Wメタルハライドランプ2灯を設置し、ライトアップ照明としても利用してきました。これまでもライトアップは七夕をはじめ様々なイベントや記念日に開催され人気を集めてきましたが、照明器具のLED化にあたり、より魅力的な演出が可能なフルカラーLED照明器具の導入に至りました。今回の更新では3つのゲートに対して、それぞれ3台ずつを設置。9台合わせた消費電力は450Wで管理照明としての十分な機能を果たしつつ大幅な

省エネをはかり、多彩なライトアッププログラムも整えることができました。フルカラーLED照明器具は複数のLED光源を的確に組み合わせる精度をもち、求める光を表現。たとえば七夕をイメージしたライトアップ演出では、青色～紫色へ流れる演出、ピンク色で点滅する演出、広がる演出を3分間1サイクルで照射することが可能で、フルカラーLEDの表現力でドーム型アーチ式のダムを鮮やかに美しく演出します。



フルカラーLED照明器具
ColorBlast IntelliHue Powercore gen5

主な搭載器具一覧				
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考
屋外	フルカラー LED 照明器具 (カラーキネティクス・ジャパン ブランド)	① ColorBlast IntelliHue Powercore gen5	9	消費電力:50W
		② Data Enabler Pro	3	
		③ iPlayer3	1	消費電力:5W